

## 平成 16 年度補助金等支出明細書

1.補助金等の名称 (交付官庁)	平成 16 年度 科学研究費補助金 研究成果公開促進費 研究成果公开发表 (B)	
2.課題名	遠隔地支援型リフレッシュ理科出前教室 (第 7 回リフレッシュ理科教室風伝会場)	
3.事業の目的及び内容	<p>(1)目的 近年、小・中学生の理科離れが危惧されている。この原因の一端は、理科教育を行う立場の教師側にもあり、いわば「理科離れ」が現状を作り出したともいえる。本企画は、このような理科に対する希薄な教育状況を少しでも改善すべく、簡単な科学原理に基づいた実験工作を通して、小・中学校の教諭及び児童生徒に理科の本来の楽しさを伝えることを目的としている。すでに、応用物理学会東海支部では、平成 10 年度より 6 年間にわたり「リフレッシュ理科教室」を企画・開催し、多くの参加者から好評を得てきた。開催地も名古屋、山梨、浜松、三重、岐阜へと広がり(延べ会場数:17 会場)、また昨年度は新しい試みとして、都会から離れていて、日頃から最新の科学技術に直接触れる機会の少ない岐阜県上宝村の教諭と児童を対象とした「へき地支援型リフレッシュ理科出張教室」を開催した。ここでの参加者の反響は想像以上に高く、理科教育の情報を享受しやすい大都市圏だけの活動でなく、地方での理科教育啓発の重要性を再認識する機会となった。本年度は、5 県にまたがる応用物理学会東海支部の広い地域において、このような遠隔地における理科教育啓蒙活動を更に継続・発展させるために、三重県南牟婁郡紀和町・御浜町の入鹿小・入鹿中学校、尾呂志学園小・中学校との連携によって、本リフレッシュ理科出張教室(風伝会場)の開催を計画した。</p> <p>(2)具体的な内容 本企画では、理科の簡単な原理に基づいた実験工作を実際に体験してもらい、それを通して理科の楽しさ、科学の不思議さとそれを解き明かす面白さを実感してもらう。今回の企画の全体テーマは「動きの科学」とし、それに関わる、1テーマ1時間程度でできる合計 6 つの理科工作テーマを用意する。子供たち自身に体験してもらうことは勿論のこと、日々、学校で子供たちの指導に当たっている教諭を対象にした教室も開き、総合学習などの授業のヒントにさせていただくことで、より多くの児童生徒に理科の面白さが伝わることに重点をおいている。開催日は全校登校日とし、初日午前中に入鹿・尾呂志学園両小・中学校の教諭を対象に全ての工作実験テーマを体験していただき、初日午後と 2 日目午前それぞれ入鹿小・中学校及び尾呂志学園小・中学校の全児童生徒を対象に小学校低学年と小学校高学年・中学生にわけ、それぞれの学年に応じた 3 つのテーマを体験してもらう。特に、午後の教室では午前に参加した先生方にも教育に加わっていただくことで、指導者としてのスキルアップも図っていただく。また、大学などの最先端の研究成果をわかり易く展示・説明することによって最新の科学技術にも触れてもらう。さらに、遠隔地への継続した理科教育支援を行うため、昨年度実施した上宝村会場と同様に、風伝会場についても出張理科教室終了後の平成 17 年度以降も、各年度のテキスト、工作部品のサンプルなどを送付し、また、これらの地域の教諭代表者をそれぞれ、最寄りの会場へ招待して、これらの地域との連携をはかる計画である。</p>	
4.交付先の公益法人の名称	(社)応用物理学会	
5.交付実績額	500 千円(A)	
6.補助金等における管理費		
(1)人件費	0 千円	
(2)一般管理費	0 千円	
(3)その他の管理費		
	内容	金額
		0 千円
		0 千円
	合計	0 千円
7.外部への支出		
(1)外部に再補助・再委託等されているものに関する支出		
	支出内容	支出先
		金額
		0 千円
		0 千円
		0 千円
		0 千円
	合計	0 千円(B)
(2)(1)以外の支出		
	支出内容	支出先
		金額
	資料作成費	ムラセ印刷株式会社
		290 千円

	その他通信運搬費	氷室サービス	50 千円
	消耗品費	ムラセ印刷株式会社	160 千円
			千円
	合計		500 千円
8.その他			
	内容	金額	
			0 千円
			0 千円
	合計		0 千円
9.再補助・再委託等の割合			0%(B/A)